



News Release

2012年3月22日

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

【お知らせ】

毎日新聞社のニュースサイト「毎日jp」の 全面リニューアルを DAC が総合プロデュース

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅、以下 DAC)は、株式会社毎日新聞社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:朝比奈豊)のニュースサイト「毎日jp」の再構築をプロデュースし、同サイトを4月上旬にリニューアルオープンする運びとなりましたことをごお知らせいたします。

プロデュースの背景

毎日jpは、毎日新聞社のニュースサイトとして2007年10月に開設されました。「信頼」「楽しい」「役に立つ」をコンセプトに、国内外の毎日新聞取材網を生かした豊富なニュース報道に加え、エンターテインメント情報や暮らしに役立つ生活情報を充実させ、多くのユーザーに愛用され発展を遂げてきました。開設から4年半が経過し、毎日新聞が創刊140周年を迎えたことを機に、ニュースサイトとしての役割を高め、読者により見やすく、快適に閲覧できるサイトを目指そうと、大規模なリニューアルを実施することとなりました。

DACは、メディアレップとして毎日jpの広告事業に協力し、また、広告配信システム「iPS-X™」を提供してきたことから、サイトの構築システムの再設計から構築、デザインディレクションを担当することとなりました。

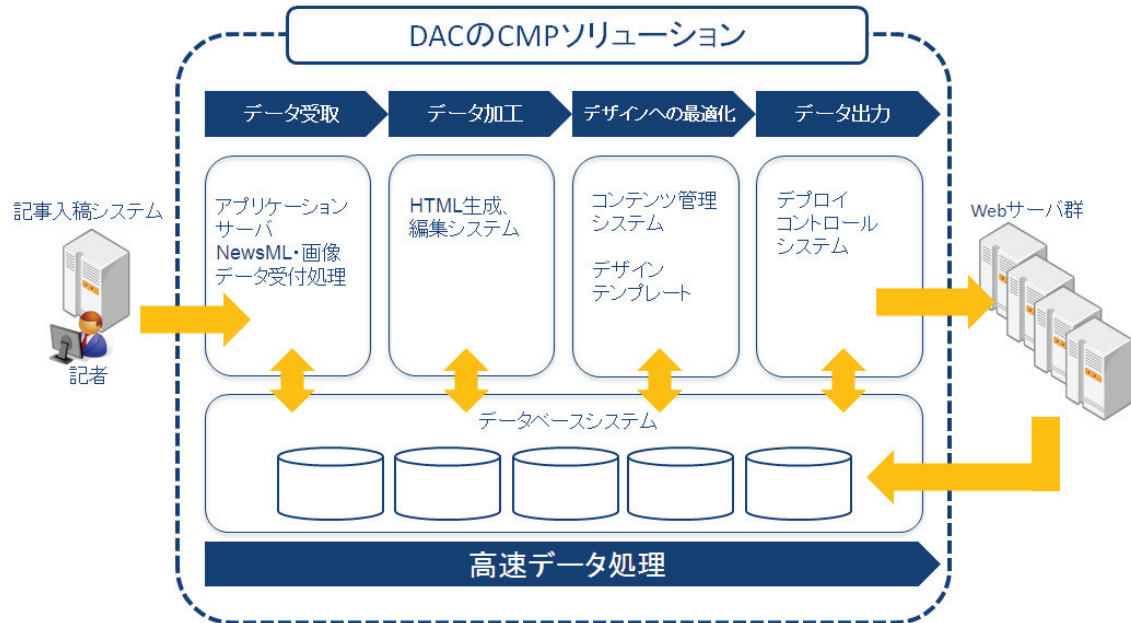
大量の記事を高速処理するサイト構築システム

毎日jp上で日々刻々と報道される大量の記事を迅速かつ安定的に処理するため、リニューアルに伴いサイト構築システムを一新しました。Firefoxのサイトやホワイトハウス、NASAなど世界の公的機関や著名企業が採用しているオープンソースCMS(コンテンツ管理システム)「Drupal(ドゥルーパル)」を導入し、記事入稿受付からWebサーバへの配信完了まで高速処理を可能にしました。また、今後想定されるサイトの発展にも対応できるように、柔軟性を持たせたCMP(コンテンツ・マネジメント・プラットフォーム)(※1)を開発いたしました。

新システムは、ソーシャルメディアへの親和性を高め、サイトをスリム化するために、個々の記事をパーマリンク(※2)化しています。また、マルチドメイン、サブドメインを容易に開設、運用でき

るため、ワンソース・マルチユース(※3)で、さまざまなデバイスへの対応やウェブサービスの展開が可能です。

DACはCMPソリューションのテクノロジー展開を今後も推進し、総合的に媒体社を支援してまいります。



(※1) Web コンテンツを構成するテキストや画像等のデジタルコンテンツを統合的に管理し、配信など必要な処理を行うプラットフォーム。

(※2) 記事が増えたり構成が変わったりしても変化しないように、記事毎に URL を割り当てること。

(※3) 1 つのデータ(情報)を複数の目的やメディアで利用すること。

ニュースをダイナミックに表示するデザイン

今回のリニューアルでは、より読みやすく、目的の情報が探しやすいニュースサイトを目指し、「シンプルで使いやすい」をコンセプトにしたグランドデザインを実施しました。活字の美しさを極限まで追求したシンプルなロゴに一新し、白をベースにした背景と各コンテンツ要素のマージン(余白)に余裕を持たせることで、記事見出しの視認性を向上し、見やすさ・読みやすさを確保しています。このように情報を認識しやすく、目的の記事へ到達しやすいサイトを設計いたしました。

また、トップページは、最新ニュースの見出しと写真をジャンル別にブロック単位で掲出し、入れ替えも可能な「ダイナミック・ニュースボックス」を使ったデザインにし、刻々と更新されるサイトを動的に読者に感じてもらえるデザインになっています。

ディスプレイやテキスト広告も最適な配置と視認性の向上を実現し、広告効果を高め、サイトの収益性向上を目指しました。

また、マルチデバイスへの対応を考慮し、次世代ウェブ記述言語「HTML5」を全面的にサポートしています。



ソーシャル対応に gigya を国内初採用

毎日jpは、ソーシャルプラグイン(※4)対応など、国内大手新聞社の中でもサイトのソーシャルメディア対応に過去から積極的に取り組んでいます。同社のキャラクターのコッコちゃんがおすすめニュース等をお知らせする毎日jp編集部のTwitterは、52万人を超える(2012年2月現在)フォロワーを獲得しています。

リニューアルにあたり、よりソーシャル対応を強化するため、ソーシャルグラフマーケティングを提供する、DACの連結子会社、株式会社トーチライト(本社:東京都渋谷区、代表取締役 CEO: 矢吹岳史)が国内展開するソーシャル・コンポーネント・プラットフォーム gigya を国内初導入することになりました。

gigyaを導入することにより、個別の記事の中から、読者が共有したいと思った記事をFacebook、Twitter、mixiなどのソーシャルメディアに向け拡散・共有することが可能となり、サイト内での友人の行動や興味をリアルタイムに共有することも可能となります。

また、ユーザ参加型のコンテンツで、コメントを自身のウォールにフィードするなど、ソーシャルのユーザに使いやすい機能を提供し、ソーシャルメディアへの親和性を高めています。

(※4)「いいね!」ボタンや「コメントボックス」など、SNSが企業のサイトなどに設置できるように提供している機能、プログラムのこと。

今後の展開について

DACグループは、これまで最先端の広告テクノロジーの提供により、広告会社、媒体社をはじめとするインターネットマーケティングを行うすべての企業のマーケティング・コミュニケーションを支援してまいりました。

今後も、広告主・広告会社・媒体社のニーズに応える技術開発・商品開発に積極的に取り組み、インターネット広告市場の発展に貢献するとともに、企業ビジョンである「e広告プラットフォーム創造企業」の実現を目指してまいります。

以 上

本件についてのお問い合わせ先：

－ デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

担 当： 戦略統括本部 広報担当

T E L: 03-5449-6300

e-mail: tech-c@dac.co.jp



D.A. Consortium

<会社概要>

■ デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 矢嶋 弘毅

本社所在地 : 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 YGPタワー33F

設 立 : 1996年12月

事 業 内 容 : インターネットメディアレップ事業、アド・テクノロジー事業等